

第31回日本体力医学会東北地方会のご案内

1. 期 日：
令和5年6月3日(土)/大会(シンポジウム, 一般演題)
6月2日(金)/幹事会
2. 主会場：岩手大学 教育学部(上田キャンパス)
学生センターA棟 G22講義室
3. 開催方法：対面方式(*状況によりオンライン配信
に変更の場合があります。)
4. 日 程：
6月2日(金) 幹事会 17:00~18:30
教育学部棟3階第2会議室
6月3日(土) 学会大会 9:15~14:45
(受付開始 8:45)
開会行事 9:15~9:20
シンポジウム 9:30~11:30
総会 11:30~12:00
昼休み 12:00~13:00
一般演題 13:00~14:30
閉会行事 14:35~14:45
5. 参加費：
①日本体力医学会会員：無 料
②シンポジウム座長・発表者, 一般演題発表者および
共同演者：無 料
③非会員：1,000円
6. シンポジウム 9:30~11:30
テーマ：「岩手における多職種連携とスポーツの関わり」
大会長：上濱 龍也 岩手大学 教育学部 教授
◆座長 アスレティックトレーナーの立場から
岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課
高橋 一男 先生
◆シンポジスト①
医師(スポーツドクター)の立場から
岩手県医師会 菅 義行 先生
◆シンポジスト②
歯科医師(スポーツデンティスト)の立場から
岩手県歯科医師会 鈴木 卓哉 先生
◆シンポジスト③
薬剤師(スポーツファーマシスト)の立場から
有限会社かたくり薬局 本田 昭二 先生
◆シンポジスト④
管理栄養士(スポーツ栄養士)の立場から
臼井循環器呼吸器内科 臼井 名津子 先生
7. 一般演題発表 13:00~14:30
非会員の場合は「体力科学」への掲載料として1頁
あたり3,000円を著者が負担することとなっております。
8. 各種資格単位認定について(申請料無料)
(1) 日本医師会認定健康スポーツ医制度 健康スポー
ツ医研修 2.0単位
(2) 健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士・健
康運動実践指導者講義 3.0単位
9. 会場案内
岩手大学 教育学部(上田キャンパス)
学生センターA棟 G22講義室
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8
Tel: 019-621-6521
E-mail: kamihama@iwate-u.ac.jp
10. 大会事務局/お問い合わせ先
〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通1丁目1番1号
岩手医科大学 教養教育センター 人間科学科
体育学分野
第31回日本体力医学会東北地方会大会事務局
事務局長 佐々木亮平
Tel: 019-651-5111 (内線5410)
E-mail: taiiku@iwate-med.ac.jp

第90回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：令和5年6月10日(土)、11日(日)
 会 場：香川大学 OLIVE SQUARE多目的ホール
 (〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号)

プログラム

1 日目：令和5年6月10日(土)
 12時50分～13時30分 受付
 13時00分～13時30分 幹事会
 13時35分～13時40分 挨拶
 13時45分～16時00分 研究発表(1)
 16時15分～17時20分
 特別講演
 『コロナ禍の子どもの生活・運動習慣について』
 講師：山神 眞一 教授(香川大学副学長)

17時45分～19時45分
 情報交換会(香川大学生協カフェ空・海)

2 日目：令和5年6月11日(日)
 8時45分～9時00分 受付
 9時00分～12時00分 研究発表(2)
 12時00分～12時30分 総会

※演題数により変更になる場合があります。

○学会参加費

会員：1,000円、非会員：2,000円、
 学生及び大学院生：無料

○健康運動指導士及び健康運動実践指導者の方へ

本学会は、健康運動指導士及び健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位として申請予定です。単位認定を申請される方は、健康運動指導士証および健康運動実践指導者証をご持参の上、受付で手続き(事前受付不要)をしていただきます(受講料：1,000円)。

○情報交換会

会場：香川大学生協カフェ空・海
 会費：3,000円(学生・大学院生：2,000円)
 ・会費の支払いは、学会当日受付にてお願いします。
 ・検温、手指消毒等、感染対策を行ったうえで実施します。今後の感染状況によって、中止となる可能性があります。

○一般発表について

・発表時間は10分、質疑応答4分の計14分間とします(演題数によって変更有)。
 ・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクターはこちらで準備します。

・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが、ケーブル接続等の作業につきましては発表者ご自身でお願いします(※HDMI端子あり)。
 ・Macintoshご利用の場合は、プロジェクターとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参ください。

学会参加・演題申し込み、
 予稿集原稿提出先・問い合わせ等

香川大学 教育学部 宮本賢作宛

TEL：087-932-1567(直通)

E-mail：miyamoto.kensaku@kagawa-u.ac.jp

○会場案内

香川大学(〒760-8521 香川県高松市幸町1番1号)

ホームページ：<https://www.kagawa-u.ac.jp>

大学構内の駐車場は無料にてご利用いただけるよう手続きしていますが、場合によっては近隣有料駐車場のご利用をお願いすることになるかもしれません。

※駐車スペースには限りがあります。乗り合わせでの来学にご協力をお願いいたします。

○宿泊施設

大学周辺に宿泊施設はございませんが、高松駅や繁華街周辺にはホテルが多数ございます。宿泊の手配は、各自でお願いいたします。

○学会誌「体力科学」への投稿原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて6月23日(金)【必着】までに地方会事務局へお送りください。なお、筆頭著者が非学会員の場合、抄録掲載料は1演題あたり3,000円となります。抄録掲載料の支払いは、学会当日受付にてお願いいたします。

掲載原稿送付先：jpsfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp

(地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 演題名、発表者氏名、所属機関名、本文の順にお書きください。
- 2) 演題名、発表者氏名、所属機関名を含む文字数が、900字以内になるよう作成して下さい。
- 3) 図表は認められません。

第4回日本体力医学会北九州地方会学術集会のご案内

テーマ：運動強度と時間の再考

～運動生理学的知見のアップデート～

日時：2023年6月11日(日) 9:00～12:35

会場：オンライン開催 (Zoomによるリアルタイム開催・オンデマンド配信なし)

参加費：無料 本地方会以外の会員および非会員 (大学院生・ゼミ生) も無料で参加可能

会長：飛奈卓郎 (長崎県立大学 看護栄養学部)

進行：江島弘晃 (長崎国際大学 人間社会学部)

S-1: 「自律神経活動から考える乳酸閾値強度の運動」

演者：田上友季也 (立命館大学 立命館グローバル・イノベーション研究機構)

11:10～11:30

S-2: 「運動で内因性カンナビノイド (マリファナ様類似物質) は増加する」

演者：山下知輝 (長崎県立大学 看護栄養学部)

11:30～11:50

S-3: 運動強度が食欲および実際の喫食へ及ぼす影響

演者：西村貴子 (山口県立大学 看護栄養学部)

11:50～12:10

【プログラム】

1. 開会挨拶 (9:00～9:05)

飛奈卓郎 (長崎県立大学 看護栄養学部)

2. 教育講演 (9:05～9:55)

「運動強度から見た食後の代謝・食欲応答」

座長：熊原秀晃 (中村学園大学 栄養科学部)

演者：宮下政司 (早稲田大学 スポーツ科学学術院)

質疑応答・ディスカッション

12:10～12:30

3. 特別講演 (10:00～10:50)

「運動強度と時間から考える骨格筋の適応」

座長：江島弘晃 (長崎国際大学 人間社会学部)

演者：星野太佑

(電気通信大学大学院 情報理工学研究科)

5. 閉会挨拶 (12:30～12:35)

4. シンポジウム (11:00～12:30)

「乳酸閾値強度の運動が与える身体への影響 ～脳神経系に着目して～」

座長・話題提供：飛奈卓郎

(長崎県立大学 看護栄養学部)

11:00～11:10

【参加要領】

学術集会にアクセスするURLなどの情報をお送りしますので、事前の参加登録をお願いします。以下のリンクからお申し込みください。

◆参加申し込み:

<https://forms.gle/DcQwGoHszoJpTaME7>

◆参加登録期限：2023年6月5日(月) 17:00

※事前にアドレスを送付しますので当日の参加登録はできません

◆お問い合わせ先：tobitaku@sun.ac.jp

長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科

運動生理学研究室 飛奈卓郎

第31回（一社）日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

（一社）日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、（一社）日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には（一社）日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

令和5年2月3日

（一社）日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

2. 日時および研修内容

（I）基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学（神経・筋、呼吸、循環、代謝など）や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2023年7月1日(土)

9：00～10：40	オリエンテーション、有疾患者に対する運動療法の考え方（含COPD, 腎症）
10：40～10：50	休 憩
10：50～11：50	高次脳機能と運動 – 認知症予防のための運動など–
11：50～12：50	筋骨格系組織と運動 – 寝たきり予防のための運動など–
12：50～13：50	昼 食・休 憩
13：50～14：50	循環と運動
14：50～15：50	幼児期および成長期における運動指導について
15：50～16：00	休 憩
16：00～17：00	運動、栄養、生活習慣病予防について

懇親会（会費3000円, 参加自由）

2023年7月2日(日)

9：00～10：30	運動処方の基礎
10：30～10：40	休 憩
10：40～12：10	運動器疾患に対する運動療法
12：10～13：10	休 憩
13：10～14：40	心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点
14：40～14：50	休 憩
14：50～16：20	メタボリックシンドロームに対する運動療法

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

2023年8月18日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習 (a) (トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習 (b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2023年8月19日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際 (前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習 (テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2023年8月20日(日) 10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は(一社)日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は(一社)日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2023年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（2023年4月申請予定）。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、（一社）日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F
 一般社団法人 学会支援機構内
 （一社）日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
 E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

第31回（一社）日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけてください。）

第31回 基礎コース

第31回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL： _____ E-Mail： _____

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第35回助成研究発表会」及び「ソルト・サイエンス・シンポジウム2023」の開催について

○第35回助成研究発表会

- ・開催期日 2023年7月25日(火) 9:30~18:20
- ・開催場所 都市センターホテル
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料
- ・参加申込など詳細は、財団のウェブサイトにて告知
(6月初旬に掲載予定).

○ソルト・サイエンス・シンポジウム2023

1. 開催概要
 - 1) 開催趣旨 塩に関する学術, その他の情報普及
 - 2) 開催日時 2023年10月13日(金)
14:00~17:15
 - 3) 一般公開 オンライン
 - 4) 参加料 無料
参加の申込みは所定のウェブサイトにて申込
- ・詳細については、財団のウェブサイトをご覧ください (開催1ヶ月前に掲載).

2. テーマと講演内容

- 1) シンポジウムテーマと講演内容
 - (1) シンポジウムテーマ:
「海水資源の利用・その歴史そして未来」
 - (2) 講演内容 (講演順)
 - ① 「塩を中心とした海水利用の歴史」
講演者: 党 弘之 日本塩工業会技術部長
座 長: 滝山博志 東京農工大学教授
 - ② 「ナトリウム電池の現状と可能性」
講演者: 山田淳夫 東京大学大学院教授
座 長: 斎藤恭一 千葉大学名誉教授
 - ③ 「製塩プロセスで濃縮される未利用資源の高度回収技術の開発」
講演者: 日秋俊彦 日本大学生産工学部
上席研究員・非常勤講師
座 長: 滝山博志 東京農工大学教授

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
<https://www.saltscience.or.jp>
 Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
 E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

編 集 後 記

2023年の体力科学第72巻3号をお届けします。今号には原著論文5編が掲載されています。論文を投稿して下さった著者の皆様、ご多忙のなか、査読をご担当いただきました先生方に心から感謝いたします。

今号には野球関係の論文が3編掲載されていますが、奇しくも、3月に開催されたWorld Baseball Classicでは日本代表チームの活躍に日本中が沸き立ちました。私も、ちょうどタイミングよく休暇中であったため、準決勝（対メキシコ戦）と決勝（対米国戦）を心置きなく観戦できました。野球観戦でこれほど興奮したのは初めてだったかもしれません。社会的にも注目を浴びたのはダルビッシュ有選手のリーダーシップ。「たかが野球、野球よりも日々の生活を楽しむことが大事」との発言も印象に残ります。彼のような新しい価値観をもったロールモデルに影響を受けた次世代スポーツ選手によって、将来、どのようなスポーツ文化が形成されるのか楽しみです。

さて、話は変わりますが、私は大学院生時代（すでに30年近く前）に体力科学誌に2編の原著論文を投稿し、

それらに基づいた内容で学位論文を完成させました。これは、当時、自力で英語論文を執筆する能力が自分には備わっていなかったからです。しかし、体力科学への投稿を通じて、まずは日本語で質の高い研究論文を執筆できたことが、その後、英語論文を執筆するための礎になったのは確かです。また、当時、査読いただいた先生からは（もちろん、それがどなたかはわかりませんが）、若い研究者を1人前に育てるための建設的・教育的な意見をいただいたと感じました。おそらく、現在も、査読に当たる先生方は同様な気持ちで取り組んでおられると思います。研究成果を体力科学やJPFSM（英文誌）に投稿することを、今後、よりレベルの高いジャーナルに挑戦するためのトレーニングの場として活用していただければと考えます。引き続き、会員の皆様におかれましては、本誌「体力科学」および「JPFSM」へのご投稿をお願い申し上げます。

川中健太郎

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.72, No.3

体 力 科 学 第 7 2 巻 第 3 号

令和5年5月25日 印刷
令和5年6月1日 発行

編集兼発行者
発行所

後藤勝正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印刷所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社